

# いちご栽培管理 (R3.1.)

(有) 丸 富

12月は三寒四温で徐々に冷え込み、品質や果実肥大が良くなった。今シーズンは先白果、先青果、不受精果、芽なし株が多かった。冷え込みで病害の発生は落ち着いたが、依然としてダニなど害虫の発生は多かった。

## 肥大促進

果実を収穫すると、カリウム(K)が吸収されるので、必要(収穫量)に応じてカリウム(K)を施し、効率的に転流される。果実の肥大促進に**K-40 250g/10a**と**酸カル 100 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を1ヶ月に2回、灌水する。

## 着色促進

厳寒期は日照不足により着色に時間を要する。着色が遅れると、着果負担が大きくなり、樹勢低下するので、できる限り着色を早めて収穫する。高温管理すると、病虫害の発生も多くなるので、要注意。

着色促進に**笑顔 1,000倍(又は天地の恵み 500倍)**と**サンミネーラ 10,000倍**を数日連続、葉面散布する。灌水時に**天地の恵み 200 cc(又は笑顔 100 cc)/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を施用する。

## 害虫対策

各地でダニの発生が多いので、注意して観察する。寒くなると、柵ミの被害が多くなるので、要注意。柵ミやダニの事前対策として**バイオアクトTS 50~70 cc/10a**を5~7日毎に散水、又は散布する。事前の害虫対策として**バイオアクトTS 2,000~3,000倍**を防除時に混用散布する。

## 発根促進

地温が下がると、根の働きが悪いので、発根促進と細根維持を促し、根の働きを維持する。発根促進に**発根力(又は天地の恵み) 1 kg/10a**と**GバランスDF 1 kg/10a**を1ヶ月に1回、灌水する。

## 病害対策

未消化窒素が多く病害の原因だから、事前に原因を改善すれば、病害発生の軽減に繋がる。健全な株の育成に**時を越えた贈り物(又は酸カル) 1,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を葉面散布する。防除時に**時を越えた贈り物(又は酸カル) 2,000~3,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を混用する。

## 追肥(液肥)

少量多回数で灌水、散水する。施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	5~7ℓ/10a	} 5~7日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
時を越えた贈り物(又は天地の恵み)	100~200 cc/10a	
サンミネーラ	50~70 cc/10a	
バイオアクトTS	50~70 cc/10a	

※サンミネーラの代わりにシカアップ<sup>®</sup> 100~150 cc、天然ミネラル 100~200 cc、海藻のエキス 50gでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)